７．中小小売商業高度化事業、特定商業施設等整備事業、民間中心市街地商業活性化事業、その他の経済活力の向上のための事業及び措置に関する事項

［１］経済活力の向上の必要性

①　現状分析

三遠南信広域都市圏における広域商圏の中核としての役割が求められている中心市街地であるが、中心市街地の小売販売額は減少の一途を辿り、相対的に市内でのシェアも大きく低下するなど商業基盤の低下が中心市街地の魅力減少の要因となるとともに、低未利用地の増加や空き床数の高止まりなどの要因となっている。

令和５年に実施した市民アンケート調査では、中心市街地に魅力を感じない理由として、「行きたい店が少ない」が突出していることから、商業基盤の強化を図ることで、中心市街地の魅力向上を図ることが求められる。また、新型コロナにより大きく影響を受けた歩行者通行量のうち、休日歩行者通行量はコロナ前の水準まで回復基調にある一方、平日歩行者通行量は回復に向けた足取りは重い状況となっている。ヒアリング等ではショッピングや遊べる場所がより充実することや物販や飲食店等の魅力的な店舗の充実を望む意向が多く挙がった。

②　経済活力の向上の必要性

中心市街地の商業機能の基盤強化と魅力を高めていくため、都心商業の核となる大規模商業施設の立地を支援するとともに、空き店舗を活用した新規出店やリノベーションを活用したエリア価値の向上を継続的に取り組む。また、「音楽のまち」として中心市街地で実施してきた各種イベントを継続するとともに、個店や個別商店街自らが活性化に取り組む事業の支援、公共空間の利活用によるイベント事業を推進し、併せて中心市街地のイベント情報をはじめ様々な魅力発信をおこなうオウンドメディアを展開することで、集客力を向上し、中心市街地の経済活力向上を図る必要がある。

さらに、インキュベーション施設を活用した創業支援をはじめ、スタートアップの創出・育成を図り、中心市街地におけるエコシステムを構築することで、平日の賑わい増加へとつなげていく必要がある。

［２］具体的事業の内容

（1）　法に定める特別の措置に関連する事業

【事業番号】7-1【事業名】大規模小売店舗立地法の特例/（１）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度
【実施主体】	浜松市（産業振興課）
【事業内容】	大規模小売店舗立地法の手続きを簡略化することにより、都心商業の核となる大規模商業施設の進出を支援し、魅力ある商業集積の形成と中心市街地への来街者増加を図る。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	民間投資の促進によるエリア価値向上、滞在空間の快適性の向上

【目標指標】	低未利用地面積		
【活性化に資する理由】	大規模小売店舗の迅速な立地を促進し、中心市街地の活性を図ることで、民間投資による中心市街地のエリア価値向上や商業機能の向上に資する事業である。		
【支援措置名】	大規模小売店舗立地法の特例		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	経済産業省

（2） 認定と連携した支援措置

① 認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した特例措置に関連する事業

【事業番号】7-2【事業名】ハママツ・ジャズ・ウィーク開催事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（創造都市・文化振興課）		
【事業内容】	当該事業は「まちなかに音楽があり、音楽がまちをつくり出す」ことを目指し、期間中、まちなかの公共施設、街角、公共空間や民間施設（ジャズクラブ等）で気軽にジャズが楽しめるイベントとなっており、市内外から来街者が集う。イベントの開催を通じて、音楽に親しむ機会を提供し「音楽の都・浜松」の都市ブランドを構築することは「「みがく」歴史・文化の継承と活用による魅力の向上」及び「「いどむ」市民協働による新たな価値創出への挑戦」を目標とする中心市街地の活性化に資する事業である。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上、交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	公共施設利用者数、まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	「まちなかに音楽があり、音楽がまちをつくり出す」ことを目指し、世代を問わず楽しめる「ジャズ」をテーマに官民一体となって企画運営するユニークな地域文化イベントとして 30 年以上実施している。期間中はまちなかの公共施設や民間施設を始め、街全体がジャズ一色で染まるため、中心市街地の活性化に資する事業である。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-3【事業名】まちなか(プロムナード)コンサート開催事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度
【実施主体】	浜松市（創造都市・文化振興課）
【事業内容】	音楽愛好者に、音楽を通じて多くの市民と交流する機会・発表の場を、市民には気軽に音楽を楽しむ機会を提供することで、「音楽の都」という都市ブランドを高めるイベント事業。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上、交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が

	参画する活動の増加
【目標指標】	公共施設利用者数、まちなか公共空間利活用数
【活性化に資する理由】	JR 浜松駅北口広場「キタラ」等を会場に浜松市内の小学生から社会人まで様々な吹奏楽団による野外コンサートを実施することで、中心市街地の活性化に資する事業である。

【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-4【事業名】浜松国際ピアノコンクール開催事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度
【実施主体】	浜松市（創造都市・文化振興課）
【事業内容】	アクトシティ浜松を会場として 3 年に一度開催される国際ピアノコンクール。世界各国の新進ピアニストに日頃の研鑽の成果を競い合う機会を与え、その育成を図ることにより、音楽文化の振興と国際交流の推進に寄与するとともに、イベント開催によるにぎわいの創出により中心市街地の交流人口を増加させる。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数
【活性化に資する理由】	本事業は、「音楽の都・浜松」を代表する国際文化事業であり、開催期間中、予選、本選、入賞者披露演奏会等様々なイベントが開催される。音楽文化の国内外への発信と交流を促進し、魅力ある音楽文化の創出に寄与するもの。浜松駅から徒歩圏内であるアクトシティで開催することは、中心市街地の滞在人口、滞在時間の増加につながる。

【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 9 年 4 月～令和 10 年 3 月 令和 12 年 4 月～令和 13 年 3 月（予定）	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内、事業実施年度のみ		

【事業番号】7-5【事業名】静岡国際オペラコンクール開催事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度
【実施主体】	静岡国際オペラコンクール実行委員会（浜松市（創造都市・文化振興課）、静岡県、公立大学法人静岡文化芸術大学）
【事業内容】	アクトシティ浜松を会場として 3 年に一度開催される国際オペラコンクール。才能ある若手声楽家を発掘・育成するとともに、オペラを通じた国際交流を推進するなかで、イベント開催によるにぎわい創出により中心市街地の交流人口の拡大を図る。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上

【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本事業は、オペラを通じた国際交流事業であり、音楽文化の国内外への発信と交流を促進し、魅力ある音楽文化の創出に寄与するもの。浜松駅から徒歩圏内であるアクトシティで開催することは、中心市街地の滞在人口、滞在時間の増加につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 10 年 4 月～令和 11 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内、事業実施年度のみ		

【事業番号】7-6【事業名】浜松吹奏楽大会開催事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（創造都市・文化振興課）		
【事業内容】	当事業は吹奏楽の普及と地域レベルの向上を図るとともに、市民に吹奏楽の素晴らしさや楽しさに触れる機会を提供するために、高等学校吹奏楽部による「全日本高等学校選抜吹奏楽大会」及び全国の中学校と本市中学校吹奏楽団体による「全国中学校交流コンサート」を実施する。浜松市中心市街地に位置し、音楽・産業の文化拠点である「アクトシティ浜松」で開催することで、若者のまちなかへの来街きっかけを醸成し、にぎわいの創出を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本事業は全国の若者による交流を目的としており、「音楽の都・浜松」の発展につながり中心市街地の来街者数の増加に資する事業である。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-7【事業名】アクトシティオルガンミニコンサート開催事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（創造都市・文化振興課）		
【事業内容】	アクトシティ浜松中ホールの付帯設備であるパイプオルガンのミニコンサート等を実施するもの。音楽を身近に親しむ機会を提供するイベントを開催することで、多くの人にアクトシティ中ホールへの来街を促すもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	音楽を身近に親しむ機会を提供するイベントを開催し、多くの人にアクトシティ中ホールへの来街を促すことは、中心市街地の滞在者数、滞在時間の増加に資するもの。		

【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-8【事業名】浜松市商店街課題解決事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	商店街の活性化及び商業の振興を図るため、商業者が実施する商店街の課題解決事業（イベント事業、勉強会・セミナー、広告宣伝事業）に対し助成する		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出継承		
【目標指標】	新規出店数（累計）、（参考指標）中心市街地の居住人口		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、まちなかの商店街活動が活発化されるとともに、商店街の魅力向上に繋がり、中心市街地の来街者数の増加に資する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-9【事業名】軽トラはままつ出世市開催事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	軽トラはままつ出世市実行委員会（商工会議所、ＪＡとぴあ浜松、浜松市（産業振興課））		
【事業内容】	浜松市中心市街地の賑わいづくりと６次産業化の促進や農商工連携による地場産業の活性化、市民交流、浜松・浜名湖地域の新鮮な食材等の認知度向上を目的として、鍛冶町通りにおいて、軽トラックを利用した『市』を実施するもの。 その他、松菱跡地にてキッチンカー販売や、鍛冶町通りではステージイベントを実施し、中心市街地の集客に寄与する。 まちなかの商店等との連携、若者（学生）との連携を視野にイベントを組み立てていく。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出、交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）中心市街地の居住人口		
【活性化に資する理由】	中心市街地のメインストリートである鍛冶町大通りを歩行者天国とし実施することにより、中心市街地のエリア価値の創造につながり、中心市街地の滞在者数、滞在時間の増加に資するもの。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-10【事業名】まちなか文化祭事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課））		
【事業内容】	まちなかに若者が集い、新たなにぎわいの創出や若者の創造力と行動力を活かし、まちの活力化を図るため、市内の高校・大学等と連携し、日々の活動成果等を発表するイベントを中心市街地の公共施設や商業施設の活用し、開催する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上、交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	公共施設利用者数、まちなか公共空間利活用数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	当事業は中心市街地の公共施設や商業施設の活用し、開催するものであり、若者の創造力と行動力を活かし、まちの活力化を図ることは中心市街地の滞在者数の増加に資する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-11【事業名】賑わいワークショップ・実証事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	中心市街地活性化及びまちづくり人材育成を目的とした官民連携の取組として、賑わいワークショップ事業を実施。市や地元企業・団体の若手職員等が協力し、中心市街地の課題を整理し、中心市街地の活性化につながるアイデアを出し合い、持続可能な中心市街地の活性化に向けた具体的な事業提案をする。提案内容に基づきワークショップ参加者をはじめとした中心市街地の関係者と実証事業を行うもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加、居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）まちなか滞在時間		
【活性化に資する理由】	当事業を実施することにより、まちづくりを担う人材育成を行うとともに中心市街地活性化に向けた実証事業することで、中心市街地の滞在時間の増加に資する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 9 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-12【事業名】中心市街地活性化事業費補助金/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	中心市街地の活性化及びにぎわい創出に寄与するため、商店会等の複数団体が参加する実行委員会等が行うまちなか回遊性向上事業に対し助成する。 補助対象事業：街なかの活性化を目的としたイベント等で、回遊性公益性が認められるもの。入場料、参加料の設定は可能であるが、収益を目的とした事業内容では無く、不特定多数の個人・団体が参加することが可能である事業 補助対象経費：イベント開催に係る報償費、賃金、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	新規出店数（累計）、(参考指標)まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、まちなかにおけるイベント開催機会の創出及びイベント開催による中心市街地の来街者数の増加に資する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 9 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-13【事業名】位置情報を活用した来街促進実証事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	MICE 来訪者の来街促進に向けた実証事業として、MICE 主催者と連携し、位置情報を活用した情報発信やイベント開催によって来街促進を図る １ 連携先　大型イベント主催者、開催会場管理者 ２ 業務内容　(1)情報発信　イベント主催者と連携した情報発信、位置情報を活用した広告配信 (2)来街促進策　ウォーキングイベントやスタンプラリーなど (3)効果検証　位置情報を活用した行動ログデータの分析（人流、訪問先、属性など）		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	公共施設利用者数、(参考指標)まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、中心市街地の来街者の増加に資する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 9 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-14【事業名】出世の街 浜松 家康公祭り開催事業/（２）①

【事業実施時期】	平成 23 年度～		
【実施主体】	浜松市（観光・シティプロモーション課）		
【事業内容】	大河ドラマ「どうする家康」の放送や「家康公騎馬武者行列@浜松まつり」の開催によって大きく高まった「家康公ゆかりの地」としての認知度を定着させ、都市ブランドの確立を目指すとともに、継続した誘客を図るため、イベントを開催するもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	公共施設利用者数		
【活性化に資する理由】	浜松城公園を中心に、家康公の歴史や文化を体験できるイベントなどを実施することにより、中心市街地への誘客に資するもの。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-15【事業名】浜松まつり事業/（２）①

【事業実施時期】	約 450 年前～		
【実施主体】	浜松市（観光・シティプロモーション課）		
【事業内容】	毎年 5 月 3 日から 5 日の 3 日間にかけて開催される本市を代表する祭り。昼間は中田島の凧揚げ会場を舞台にこどもの誕生を祝う初凧が天高く揚げられ、夜は中心市街地において御殿屋台の引き回しを実施する。本市最大のイベントである浜松まつりの実施期間中は、まちなかの各所でさまざまなイベントが行われ賑わう。本事業を円滑に運営し、観光客を誘致するもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本事業は、市内の 80 以上ある町が浜松市の中心地に集まり、御殿屋台の引き回しを行ったり、まちなかの各所でさまざまなイベントが行われたりし、中心市街地のにぎわいに資する事業である。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	一部区域内		

【事業番号】7-16【事業名】アニメコンテンツを活用した観光誘客事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 7 年～令和 10 年度
【実施主体】	浜松市（観光・シティプロモーション課、民間事業者を含む実行委員会）
【事業内容】	浜松市にゆかりのあるアニメ等コンテンツを活用した観光誘客事業を実施する ・コラボグルメ、コラボグッズの開発・販売

	・スタンプラリー ・モニュメントの制作 ・コンテンツを活用した音楽イベントとの連携　など
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数
【活性化に資する理由】	中心市街地の店舗にてアニメコンテンツを活用したコラボメニューやグッズ販売を展開するほか、エリア内の観光施設をスポットとしたスタンプラリーを実施することで、来街者の増加や消費拡大に繋がる。また、コンテンツを活用した音楽イベントとの連携を実施し、宿泊施設利用者の満足度向上と滞在時間延長を図ることで、中心市街地の活性化に資する。

【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	一部区域内		

【事業番号】7-17【事業名】MICE 推進事業/（２）①

【事業実施時期】	平成 9 年～
【実施主体】	浜松市（観光・シティプロモーション課）
【事業内容】	本市で開催されるコンベンション主催者への助成金交付によって開催支援を行うことで、浜松地域へのコンベンションの誘致促進を図り、地域経済の活性化と文化の向上を図るもの。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数
【活性化に資する理由】	本市は東京と大阪の 2 大都市のほぼ中間地点であり、交通アクセスがスムーズであることから、中心市街地の地域資源を活かして、国際会議やコーポレートミーティング等を実施することは、来街者の増加に資する。

【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-18【事業名】家康公ゆかりの地誘客イベント実施事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度
【実施主体】	浜松市（観光・シティプロモーション課）
【事業内容】	2026 年大河ドラマ「豊臣兄弟！」の放送を契機に、家康公ゆかりの地として、本市の認知度向上と誘客促進を図り、観光消費額の拡大を目的としたトークイベント等を実施するもの。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上

【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本市は東京と大阪の２大都市のほぼ中間地点であり、交通アクセスがスムーズであることから、大河ドラマを活用したイベントを実施することは、来街者の増加に繋がり中心市街地の滞在者数の増加に資する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-19【事業名】直虎ゆかりの地推進事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度		
【実施主体】	浜松市（観光・シティプロモーション課）		
【事業内容】	大河ドラマ「おんな城主 直虎」の放送から 10 周年の節目の年となる本年に大河ドラマ出演者によるトークショーや関連イベントを実施することで、本市のブランド力向上や交流人口の拡大を図るもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本市は東京と大阪の２大都市のほぼ中間地点であり、交通アクセスがスムーズであることから、直虎ゆかりの地 浜松としての誘客につながるイベントを実施することは、来街者の増加に繋がり中心市街地の滞在者数の増加に資する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 9 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-20【事業名】食と農の地域ブランド推進事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松・浜名湖地域　食×農プロジェクト推進協議会（浜松市（農業水産課）		
【事業内容】	徳川家康にゆかりのある浜松城と浜松城公園周辺で農林水産物・食品の販売や茶事等のイベントを実施することにより浜松パワーフードをはじめとする当地域の食に関する魅力を PR するもの。 内容：地元農林水産物・食品の販売や食育体験プログラムの実施、浜松パワーフードの広報等を実施する。販売や食育体験プログラムには生産者等が参加し、来場者との交流を図る。また、外国人旅行者の中でも富裕層向けに「茶の湯の文化」を楽しんでもらうため茶事のプログラムを造成し、市中心部及び周辺への誘客を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	公共施設利用者数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、中心市街地で浜松・浜名湖知育の食文化や農林水		

	産物に触れる機会を創出するため、中心市街地市街地への誘客に資するもの。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-21【事業名】浜松花と緑の祭/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度（毎年 10 月開催予定）		
【実施主体】	浜松市（緑政課）		
【事業内容】	緑化や環境に対する意識高揚を図るとともに、「花と緑のまち・浜松」を広く市民にＰＲし、また商業者、地域住民との連携を深め、市民協働により中心市街地においてイベントを開催し、中心市街地の活性化を図るもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出、来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	暮らしやすいまちとしての中心市街地の魅力を発信し、来街機会の増加に繋げるとともに中心市街地の滞在者数、滞在時間の増加に資するもの。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-22【事業名】多文化創造活動促進事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（国際課）		
【事業内容】	外国人市民による文化的・創造的活動の表現の場として「はままつインターナショナルフェスティバル」を浜松市ギャラリーモール・ソラモにおいて開催する他、地域社会で活躍するロールモデルとなる外国人市民の取組を広く発信するセミナー等を行う。 当事業は「浜松市多文化共生都市ビジョン」が掲げる「多様性を活かして新たな価値・文化を生み出すまち」を目指す取り組みであり、中心市街地で実施することにより、日本人市民、外国人市民、来街者の交流を図る事業である。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出、来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	浜松駅近郊の浜松市ギャラリーモール・ソラモで実施することにより、来街機会の増加に繋げるとともに中心市街地の滞在者数、滞在時間の増加に資するもの。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省

［その他特記事項］	区域内

【事業番号】7-23【事業名】建設のしごと体験イベント事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（技術監理課）		
【事業内容】	近年建設業界への就職が減少傾向にあることを受け、こどもたちやその保護者が、普段あまり触れることのない「建設のしごと」に関わる機会を提供し、建設業がこどもたちの将来の就職の選択肢のひとつになるよう「建設のしごと」に親しみ、理解を深めていただくことを目的として「はままつ建設フェスタ」を開催する。 特に、近い将来建設業の担い手となりうる中・高校生が、公共交通機関で来場しやすい浜松城公園東葵広場で行うことで、事業の効果を高めるとともに、中心市街地への回遊を促すもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出、来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）中心市街地の居住人口、		
【活性化に資する理由】	浜松城公園東葵広場で実施することにより、来街機会の増加に繋げるとともに中心市街地の滞在者数、滞在時間の増加に資するもの。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-24【事業名】次世代スタートアップ育成事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 5 年度～
【実施主体】	浜松市（スタートアップ推進課）
【事業内容】	第 2 期浜松市スタートアップ戦略に基づき、スタートアップが生まれ、集まり、地域と共に育つエコシステムの構築にむけて、大学生、専門学校生、高校生等のコミュニティを形成するとともに、育成プログラムを実施することにより、浜松地域の次世代を担うスタートアップ経営者やアントレプレナーシップに満ちた人材等を育成する。プログラムやイベント等を計画区域内施設で実施し学生を中心市街地内に集約することで、中心市街地のにぎわい創出を目指す。 １　学生のためのアントレプレナーシップ醸成コミュニティ ２　トライアルオフィスの管理運営
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）中心市街地のスタートアップ創業者数
【活性化に資する理由】	本支援事業を実施することはコミュニティ拠点「Startup Cross Hamamatsu」が中心市街地にあるため、育成プログラムの開催によって）来街者の増加につなが

	る。また将来的には中心市街地への業務機能の集積を促すことや雇用の創出につながる。

【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
その他特記事項	区域内		

【事業番号】7-25【事業名】浜松市地域力向上事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度
【実施主体】	浜松市（中央区区振興課）
【事業内容】	市民協働の手法により、住みよい地域社会を実現するため、市が実施又は支援する区内の地域資源を活かした事業や課題を解決する事業 １　市民提案による住みよい地域づくり助成事業 団体の提案に基づき、市が公益上の必要を認め、団体が主体的に取り組む事業に対し、市から補助金を交付することで、効果が期待できる事業 ２　区民活動・文化振興事業 地域の活性化や文化振興のため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業 ３　区課題解決事業 地域の課題を解決するため、市民協働の観点を取り入れて実施する事業 ４協働センター等を核とした地域課題解決事業 支所、協働センター及びふれあいセンターにおいて、地域の課題を解決するため、地域団体等との協働によって実施する事業
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数
【活性化に資する理由】	本支援事業を実施することは、市民協働による中心市街地の新たな価値の創出及び市民団体等が主催のイベント実施によるにぎわいの創出・交流人口の増加につながる。

【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
その他特記事項	区域内		

【事業番号】7-26【事業名】まちなかスポーツフェスティバル開催事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度
【実施主体】	まちなかスポーツフェスティバル実行委員会 共催：浜松市（スポーツ振興課）
【事業内容】	中心市街地の公共空間の利活用を促進し、スポーツ等多様な市民活動の場を創出するため、まちなかで多様なスポーツを楽しむ「まちなかスポーツフェスティバル」を開催するもの
活性化を実現するための位置付け及び必要性	

【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加、来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することは、スポーツ等多様な市民活動による中心市街地の新たな価値の創出及びにぎわいの創出に繋がり交流人口の増加に資する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
その他特記事項	区域内		

【事業番号】7-27【事業名】浜松シティマラソン開催事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松シティマラソン実行委員会（浜松市（スポーツ振興課））		
【事業内容】	中心市街地の公共空間の利活用を促進し、スポーツ等多様な市民活動の場を創出するため、多くの市民ランナーが浜松の中心市街地を駆け抜ける「浜松シティマラソン」を開催するもの		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	本事業を開催することは、多くの市外、県外ランナーの参加が期待できることから交流人口の増加とにぎわいの創出に資する。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
その他特記事項	区域内		

【事業番号】7-28【事業名】こども音楽鑑賞教室開催事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（創造都市・文化振興課）		
【事業内容】	市内の小学校 5 年生全員を対象に、アクトシティ大ホールを大きな音楽室として、音楽鑑賞教室を行う。良質な音楽の鑑賞だけでなく、合唱やリコーダー合奏など生徒とプロのオーケストラとが共演を行う。また、市内の小学校 6 年生を対象に、アクトシティ大ホールにて本格的なミュージカルを鑑賞する機会を提供する。これらの事業は学校行事とイベントの両側面を有しているものである。特に、音楽鑑賞教室は、一般客用のチケット販売を行い広く参加者を募っている。この点からも、当該事業は、単に市内小学生が参加するのみに留まらず、広く一般市民の方の来街も促進するもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	浜松駅から徒歩圏内であるアクトシティを会場として、プロオーケストラの鑑		

	賞教室やミュージカルを開催することは、中心市街地の滞在人口、滞在時間の増加につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-29【事業名】音楽のあふれるまちづくり発信事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（創造都市・文化振興課）		
【事業内容】	軽音楽分野の音楽祭の開催等、若年層を対象とした、気軽に音楽に触れ・体験することのできる機会を提供することで、音楽に関心を持つきっかけを創出するとともに音楽人材の育成を目指すもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	浜松駅から徒歩圏内であるアクトシティや浜松市ギャラリーモール「ソラモ」等を会場として、軽音楽分野の音楽祭等を開催することは、中心市街地の滞在人口、滞在時間の増加につながる。		
【支援措置名】	中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 13 年 3 月	【支援主体】	総務省
［その他特記事項］	区域内		

【事業番号】7-30【事業名】浜松城公園さくらの名所再生事業/（２）①

【事業実施時期】	令和 7 年度～令和 11 年度		
【実施主体】	浜松市（公園課・緑政課）		
【事業内容】	浜松城公園の桜を、本市を代表する「さくらの名所」とするため、衰弱した桜の治療再生計画の策定や市民協働を図るための啓発イベントの実施、桜の治療再生、育苗、植栽などを行うもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	公共施設利用者数		
【活性化に資する理由】	当事業を実施することにより、市民の憩いの場や観光名所として活性化を図ることで、まちなかへの来街の増加に資する。		
【支援措置名】	中心市街地再活性化特別対策事業、中心市街地活性化ソフト事業		
【支援措置実施時期】	令和 8 年 4 月～令和 12 年 3 月	【支援主体】	総務省
その他特記事項	区域内		

② 認定と連携した支援措置のうち、認定と連携した重点的な支援措置に関連する事業

【事業番号】7-31【事業名】浜松地域スタートアップ連携促進事業/（２）②

【事業実施時期】	令和 6 年度～

【実施主体】	浜松市（スタートアップ推進課）		
【事業内容】	第2期浜松市スタートアップ戦略に基づき、スタートアップが生まれ、集まり、地域と共に育つエコシステムの構築にむけて、スタートアップと地域企業等の連携に繋がるマッチング環境の整備や連携プロジェクトの支援を実施することにより、社会課題の解決や市民サービスの向上、産業の振興を図る。 １　マッチング環境の整備 ２　連携プロジェクト支援		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	本支援事業を実施することでスタートアップや地域企業の活性化により中心市街地への業務機能の集積を促すことや雇用の創出につながるとともに、中心地市街地における社会課題の解決や市民サービスの向上につながる。		
【支援措置名】	地域未来交付金		
【支援措置実施時期】	令和７年度～	【支援主体】	内閣府-

【事業番号】7-32【事業名】中心市街地の情報を発信するオウンドメディアの開設事業/（２）②

【事業実施時期】	令和8年度～令和12年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	中心市街地を始めとする店舗情報やイベント情報を掲載とともに、浜松市空き店舗利活用事業や公共空間利活用制度等の制度説明及び事例紹介を行うことで、各事業とも連携し中心市街地の魅力を幅広く発信し、来街意欲の向上につなげ、滞在者数を増加させるとともに、滞在時間を増加に寄与する。 令和8年度はWEBサイトを制作するとともに、デジタルマーケティング広告（位置情報を利用したSNSへの広告等）を実施し、WEBサイトへの誘導を図る。 令和9年度以降は特集記事の取材、作成、デジタルマーケティング広告（位置情報を利用したSNSへの広告等）実施予定。 参考（令和9年度以降）：3,000千円程度（特集記事の取材・作成費、デジタルマーケティング広告費）		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	当事業を実施することにより、魅力的な店舗や中心市街地でのイベント情報を発信し、来街機会の増加に繋げるとともに中心市街地の滞在者数の増加に資する。		
【支援措置名】	地域未来交付金（地域未来推進型）		
【支援措置実施時期】	令和8年度	【支援主体】	内閣府

【事業番号】7-33【事業名】賑わいワークショップ・実証事業【再掲】/（２）②

【事業実施時期】	令和 8 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	中心市街地活性化及びまちづくり人材育成を目的とした官民連携の取組として、賑わいワークショップ事業を実施。市や地元企業・団体の若手職員等が協力し、中心市街地の課題を整理し、中心市街地の活性化につながるアイデアを出し合い、持続可能な中心市街地の活性化に向けた具体的な事業提案をする。提案内容に基づきワークショップ参加者をはじめとした中心市街地の関係者と実証事業を行うもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加、居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）まちなか滞在時間		
【活性化に資する理由】	当事業を実施することにより、まちづくりを担う人材育成を行うとともに中心市街地活性化に向けた実証事業することで、中心市街地の滞在時間の増加に資する。		
【支援措置名】	地域未来交付金（地域未来推進型）		
【支援措置実施時期】	令和 8 年度	【支援主体】	内閣府

【事業番号】7-34【事業名】中心市街地活性化事業費補助金【再掲】/（２）②

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	中心市街地の活性化及びにぎわい創出に寄与するため、商店会等の複数団体が参加する実行委員会等が行うまちなか回遊性向上事業に対し助成する。 補助対象事業：街なかの活性化を目的としたイベント等で、回遊性公益性が認められるもの。入場料、参加料の設定は可能であるが、収益を目的とした事業内容では無く、不特定多数の個人・団体が参加することが可能である事業 補助対象経費：イベント開催に係る報償費、賃金、旅費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	新規出店数（累計）、(参考指標)まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、まちなかにおけるイベント開催機会の創出及びイベント開催による中心市街地の来街者数の増加に資する。		
【支援措置名】	地域未来交付金（地域未来推進型）		
【支援措置実施時期】	令和 8 年度	【支援主体】	内閣府

【事業番号】7-35【事業名】位置情報を活用した来街促進実証事業【再掲】/（２）②

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度

【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	MICE 来訪者の来街促進に向けた実証事業として、MICE 主催者と連携し、位置情報を活用した情報発信やイベント開催によって来街促進を図る １ 連携先　大型イベント主催者、開催会場管理者 ２ 業務内容 (1)情報発信　イベント主催者と連携した情報発信、位置情報を活用した広告配信 (2)来街促進策　ウォーキングイベントやスタンプラリーなど (3)効果検証　位置情報を活用した行動ログデータの分析（人流、訪問先、属性など）		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	公共施設利用者数、(参考指標)まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、中心市街地の来街者の増加に資する。		
【支援措置名】	地域未来交付金（地域未来推進型）		
【支援措置実施時期】	令和 8 年度	【支援主体】	内閣府

【事業番号】7-36【事業名】駅南地区まちづくり指針策定事業/（２）②

【事業実施時期】	令和 8 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	常葉大学浜松キャンパスや浜松調理菓子専門学校の移転が決定するなど、今後の発展が期待される駅南地区について、地域住民や事業者等の意向を踏まえた「ま 8 づくりの指針」を策定する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	今後の発展が期待される駅南地区について、地域住民や事業者等の意向を踏まえたまちづくりの指針」を策定することにより都市機能の誘導を図り、中心市街地の来街者の増加に寄与する。		
【支援措置名】	地域未来交付金（地域未来推進型）		
【支援措置実施時期】	令和 8 年度	【支援主体】	内閣府

【事業番号】7-37【事業名】中心市街地活性化施策調査研究事業/（２）②

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度
【実施主体】	浜松市（産業振興課）
【事業内容】	中心市街地の基礎調査として、以下の調査事業を実施する。 1　人流データ調査 GPS 等で収集された人流データ（滞在人口（15 分以上滞留）データ、その他取得可能な属性データ（性別、年代、居住地等）一覧表）を取得する。また、イベント時の回遊性調査として、中心市街地の来訪者回遊状況がわかる OD

	データまたは移動軌跡データを活用し分析する。 2　土地利用の現況把握調査 中心市街地の空き地、平面駐車場等を地図上に整理し、土地利用の現状を把握する。 3　オフィスマーケットの現況把握調査 中心市街地におけるオフィスの空室率等を調査し、オフィスマーケットの現況を把握する。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上、民間投資の促進によるエリア価値向上、滞在空間の快適性の向上
【目標指標】	公共施設利用者数、低未利用地面積
【活性化に資する理由】	本調査の実施により、中心市街地の来訪者回遊状況がわかるとともに、中心市街地の滞在者数、中心市街地の滞在時間の増加に資する施策の検討につながる。

【支援措置名】	地域未来交付金（地域未来推進型）		
【支援措置実施時期】	令和 8 年度～	【支援主体】	内閣府

【事業番号】7-38【事業名】スタートアップ成長支援事業/（２）②

【事業実施時期】	令和 4 年度～
【実施主体】	浜松市（スタートアップ推進課）
【事業内容】	第 2 期浜松市スタートアップ戦略に基づき、スタートアップが生まれ、集まり、地域と共に育つエコシステムの構築にむけて、スタートアップ等に対して事業成長のステージに応じた育成プログラムや専門家の伴走支援や相談窓口の設置、ビジネスセミナー等を実施することにより、スタートアップの成長を促進し、スタートアップ・エコシステムの醸成を行うもの。 1　スタートアップ総合相談窓口 2　スタートアップ育成プログラム 3　スタートアップ・エコシステムクラブ開催
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）中心市街地のスタートアップ創業者数
【活性化に資する理由】	本支援事業を実施することにより中心市街地への業務機能の集積を促すことや雇用の創出につながるとともに、支援の拠点である FUSE 等での育成プログラムやイベントの開催によって来街者の増加につながる。

【支援措置名】	地域未来交付金（地域未来推進型）		
【支援措置実施時期】	令和 8 年度	【支援主体】	内閣府

【事業番号】7-39【事業名】浜松市空き店舗利活用事業/（２）②

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度

【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	中心市街地の活性化及び商業機能の集積、リノベーションまちづくりの推進を図るため、市が小売店舗等の新規出店事業者に対して、空き店舗のマッチングツアーなどを実施し、経営相談等を経て行う中心市街地・商店街における小売店舗等の新規出店に要するテナント改装工事費の一部を補助するとともに、支援対象の店舗はその後のマッチングツアーなどに支援の先行事例として組み込み、新たな出店者の確保、中心市街地への誘客や商業機能の魅力向上へと繋げるものとする。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出		
【目標指標】	新規出店数（累計）		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、魅力的な店舗が立地されることやまちなかの商店街活動が活発化され、中心市街地の来街者数の増加に資する。		
【支援措置名】	地域未来交付金（地域未来推進型）		
【支援措置実施時期】	令和 8 年度	【支援主体】	内閣府

【事業番号】7-40【事業名】リノベーション事業/（２）②

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	中心市街地における空き店舗、空き床等の解消を図るため、中心市街地における事業者の支援やエリアリノベーションの促進、まちづくりの担い手を増やす取り組みを実施し、低未利用地の解消による中心市街地の活性化を図るもの。 1　まちづくりセミナー 2　エリアマネジメントセミナー 3　実践サロン　まちなか次事業計画作成セミナー（浜松起業家カフェ運営協議会）		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出		
【目標指標】	新規出店数（累計）		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、魅力的な店舗が立地されることや中心市街地への業務機能の集積を促すこと、エリア価値の向上につながり、平日のにぎわい創出に資する。		
【支援措置名】	地域未来交付金（地域未来推進型）		
【支援措置実施時期】	令和 8 年度	【支援主体】	内閣府-

（3） 中心市街地の活性化に資するその他の支援措置に関連する事業

該当なし

（4） 国の支援がないその他の事業

【事業番号】7-41【事業名】美術館平常展・企画展・特別展開催事業/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度		
【実施主体】	浜松市（美術館）		
【事業内容】	当該施設は、浜松城公園内にあり、市民に優れた美術作品や館蔵品の鑑賞機会を提供している。市民の芸術文化の向上を図るため、館蔵作品の展覧会及び浜松市「市展」を開催するほか、企画展及び全国巡回展の開催を予定している。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	当施設において展覧会を開催することにより、まちなかへの来街の増加に資する。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-42【事業名】インクルーシブスポーツ環境構築事業/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（スポーツ振興課）		
【事業内容】	浜松市スポーツ推進ビジョンに掲げる誰もが身近にスポーツを楽しめるインクルーシブスポーツ環境が市民の間で文化として定着し、スポーツを「する」「みる」「ささえる」が相互に機能することで市民の活力が生まれ、にぎわいが創出されているまちを目指すため、中心市街地において「はままつインクルーシブスポーツ連携プラットフォーム」の枠組みの中で以下の事業を実施する。 １　交流セミナー開催 ２　プラットフォーム共通発信事業 ３　プラットフォームまちなか PR 事業		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することは、スポーツ等多様な市民活動による中心市街地の新たな価値の創出及びにぎわいの創出に繋がり交流人口の増加に資する。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-43【事業名】浜松市ギャラリーモール管理運営事業/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度
【実施主体】	浜松市（産業振興課）
【事業内容】	遠州鉄道株式会社の提案による「浜松駅前旭・砂山地区再生事業」の具体化に伴い、平成 23 年に浜松市ギャラリーモール条例を制定し、平成 23 年 10 月 1 日から歩行者専用通路兼イベント広場として供用を開始、平成 24 年 4 月から指定管

	理者制度を導入して維持管理を行うもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	市民の交流を促進し、まちなかのにぎわいを創出する拠点として、整備し、維持管理することにより中心市街地の来街者の増加に資する。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-44【事業名】新川モール管理運営事業/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	浜松駅周辺部の回遊性を高める新たなにぎわい創出の拠点の場として、また中心市街地の憩いの場所とするため、新川緑地（都市公園）の一部を新たな公共空間として整備。令和 3 年に新川モール条例を制定し、令和 4 年 4 月 1 日から供用を開始、指定管理者制度を導入して維持管理を行うもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	にぎわい創出の拠点の場や中心市街地の憩いの場所として整備し、維持管理することにより中心市街地の来街者の増加に資する事業である。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-45【事業名】まちなか公共空間利活用事業/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	中心市街地でのイベント等の開催を促し、中心市街地活性化につなげるため、中心市街地活性化に向けた内容であれば、公共空間利用手続きの簡略化・許認可の期間の短縮を行うもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	中心市街地でのイベント等の開催を促し公共空間利用手続きの簡略化をすることにより共創する都心（まち）づくりに資する事業である。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-46【事業名】都心業務機能集積促進助成事業/（２）②

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	対象区域内のオフィス賃料を補助し、中心市街地への業務機能の集積を促すもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出		
【目標指標】	低未利用地面積、(参考指標)中心市街地の居住人口		
【活性化に資する理由】	中心市街地への業務機能の集積を促すことや雇用の創出につながるもの。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-47【事業名】オフィス・商業ビル新増設助成事業/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松市（産業振興課）		
【事業内容】	対象区域内に一定規模のオフィスビルを整備し、賃貸用オフィスを提供する事業を行う事業主に対し、ビルの建設費用を補助し、中心市街地への業務機能の集積や雇用の創出を促すもの。 令和 8 年度から事業設計やヒアリング調査を実施し、令和 9 年度以降に事業主体へ補助するもの。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	民間投資の促進によるエリア価値向上、滞在空間の快適性の向上		
【目標指標】	低未利用地面積		
【活性化に資する理由】	市内中心部の賃貸用オフィスが不足していることから、整備費用を補助することにより、雇用の創出につながるもの。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-48【事業名】外国人就労支援事業/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度
【実施主体】	浜松市（労働政策課）
【事業内容】	地域の産業を担う外国人材を確保するため、外国人労働者が気軽に安心して就労に関する相談ができる環境を整えるとともに、外国人留学生等の優秀な人材が市内企業へ就職することを促進する。 1　外国人の雇用・就労に関する相談窓口の設置 『浜松市外国人雇用サポートデスク』を設置し、外国人求職者及び地元企業からの相談やマッチングを実施する。 2　外国人留学生等を対象としたメンター相談の実施 外国人メンターが、市内の外国人留学生等を対象に就労・起業・生活等に

	関する相談や交流会を実施する。 ３　外国人留学生に対する就職支援の実施 外国人留学生と市内企業とのマッチングイベントを開催する。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）中心市街地の居住人口
【活性化に資する理由】	本支援事業を実施することにより外国人住民の雇用の創出や定住に繋がり、人口の増加に資する。
【支援措置名】	-
【支援措置実施時期】	-
【支援主体】	-

【事業番号】7-49【事業名】ICT 企業誘致戦略事業/（４）

【事業実施時期】	令和 5 年度～
【実施主体】	浜松市（企業立地推進課）
【事業内容】	第２期はままつ産業イノベーション構想に基づき、ICT 企業を積極的に誘致することで市内の中小企業をはじめとした地域産業の DX 推進を加速し、地域産業の高度化・高付加価値化を支援するとともに、ICT 企業の集積により雇用機会の多様化を図り、持続可能な地域産業の発展に寄与する。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	民間投資の促進によるエリア価値向上、滞在空間の快適性の向上
【目標指標】	低未利用地面積
【活性化に資する理由】	中心市街地への業務機能の集積を促すことや雇用の創出につながるもの。
【支援措置名】	-
【支援措置実施時期】	-
【支援主体】	-

【事業番号】7-50【事業名】まちなか共通駐車券運営事業/（４）

【事業実施時期】	平成 29 年度～
【実施主体】	浜松市中央地区駐車場協同組合　浜松まちなかマネジメント株式会社 浜松まちなかにぎわい協議会
【事業内容】	中心市街地内の時間貸し駐車場で利用できる共通駐車券を近隣店舗・消費者等に販売し、店舗利用客等が駐車場を使用した際に利用する。 まちづくり団体、駐車場事業及び商店街との連携によって実施することで来街者の利便性を高め、来街しやすい環境を整える。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出、民間投資の促進によるエリア価値向上、滞在空間の快適性の向上
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在時間
【活性化に資する理由】	中心市街地内の各店舗利用の際の利便性向上を図ることで、来街機会の増加および商業機能の維持拡充につなげる。

【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-51【事業名】エリアマネジメント広告を活用したイベント支援事業/（４）

【事業実施時期】	平成 23 年度～		
【実施主体】	浜松まちなかマネジメント株式会社		
【事業内容】	公共空間を活用した広告事業を展開し、その収益を各種イベントに投下することで、持続的なイベント開催によるにぎわい創出を図る。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、持続可能な資金運用が実現できるとともに、持続的なイベント開催による中心市街地の来街者の増加に資する事業である。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-52【事業名】まちなかにぎわい支援事業/（４）

【事業実施時期】	平成 23 年度～		
【実施主体】	浜松まちなかマネジメント株式会社		
【事業内容】	Any（コワーキング・レンタルスペース）運営、はままちプラス（ポップアップレンタルスペース）運営、浜松市ギャラリーモール・ソラモ指定管理事業の実施により中心市街地にて様々な分野でチャレンジしたい事業者を呼び込み支援。事業運営を通じてまちづくり財源を生み出すことに加え、来街者数・交流人口の増加につなげ新たな賑わいを生み出す。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加、民間投資の促進によるエリア価値向上、滞在空間の快適性の向上		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）まちなか滞在時間		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、持続可能な資金運用が実現できるとともに、持続的なイベント開催による中心市街地の来街者の増加に資する事業である。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-53【事業名】若者が考えるまちプロジェクト/（４）

【事業実施時期】	令和 7 年～
【実施主体】	浜松まちなかにぎわい協議会
【事業内容】	次世代のまちづくりを担う若者の感性を活かした若者参画型まちづくり推進活動。主に大学生や専門学生がフラットにまちづくりに関わることができるプラットフォームを立ち上げ、企業や団体、地域の方々との連携を図りながら進める

	実践型プロジェクトを開始。活動拠点は Any コミュニティスペース内、ワークショップやミーティングを通じて、実際に企画の実行を目指す。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加、民間投資の促進によるエリア価値向上、滞在空間の快適性の向上
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）まちなか滞在時間
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、まちなかに関わる次世代の人材育成や地域をつなぐ新たなハブの創出を目指すとともに若者の中心市街地への来街きっかけの創出を図る。
【支援措置名】	-
【支援措置実施時期】	- 【支援主体】 -

【事業番号】7-54【事業名】まちなかワクワクアカデミー/（４）

【事業実施時期】	令和 6 年度～
【実施主体】	浜松まちなかにぎわい協議会
【事業内容】	小学生を対象に地元地域の企業、文化のシビックプライドの醸成、中心市街地への来街促進を目的として多種多様な体験プログラムを実施。プログラムは企業や地域団体と連携。さらに、まちなか商業施設で使用可能クーポンを提供、消費意欲を高め、まちなか回遊性と経済効果を生み出す。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出、来街者の増加、回遊性の向上
【目標指標】	公共施設利用者数、（参考指標）まちなか滞在者数
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、こどものシビックプライドの醸成や中心市街地への来街促進に資する事業である。
【支援措置名】	-
【支援措置実施時期】	- 【支援主体】 -
その他特記事項	浜松みらいっこ事業（浜松市労働政策課）との連携により実施

【事業番号】7-55【事業名】HAMAMATSU アートでつながるプロジェクト/（４）

【事業実施時期】	令和 7 年度～
【実施主体】	浜松アーツ＆クリエイション、浜松まちなかにぎわい協議会
【事業内容】	アート音楽を基軸としたまちなかのにぎわい創出に向けて、団体・商店会・自治会・行政・アーティスト等の横断的な連携図り、新たな取組を展開する。 まちなかの空き地や路上、軒先など様々な場所を舞台とし、アーティストに活動発信・発表の機会を創出するとともにまちなかの賑わい創出に繋げる。
活性化を実現するための位置付け及び必要性	
【目標】	来街者の増加、回遊性の向上
【目標指標】	公共施設利用者数、まちなか公共空間利活用数、（参考指標）まちなか滞在者数

【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、エリア価値の向上を図り、中心市街地への来街者の増加に資する。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施実期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-56【事業名】いきいき健康フェスタ/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松商工会議所		
【事業内容】	静岡県・浜松市・協会けんぽ静岡支部と浜松商工会議所健康・医療・福祉部会で実行委員会を組織し、浜松地域の健康を推進するヘルスケアイベント。 健康寿命や健康経営の取り組みを普及する目的で浜松市ギャラリーモール・ソラモにて病院、歯科医院、整体、介護、スポーツ施設など 33 のブース出店の他、ステージイベントやスタンプラリーを実施する。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本事業は、地域の健康増進を目的とした大規模ヘルスケアイベントであり、浜松市ギャラリーモール・ソラモで実施することにより中心市街地の来街者の増加に資する事業である。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-
［その他特記事項］	浜松市（ウェルネス推進事業本部）共催事業		

【事業番号】7-57【事業名】浜松サザンクロスほしの市/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松サザンクロスほしの市実行委員会		
【事業内容】	JR 浜松駅南口から徒歩 3 分の立地にある砂山銀座サザンクロス商店街にてサザンクロス商店街のエリア価値や魅力を知ってもらうことを目的にこだわりの食と暮らしを集めたマーケットを開催する。（毎月第 2 日曜日）		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	居住人口の増加・維持、経済活動の活性化・雇用の創出、来街者の増加、回遊性の向上		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数、（参考指標）まちなか滞在者数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、中心市街地への来街者の増加に資する。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-58【事業名】アクト通りふれあいデイ/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度

【実施主体】	アクト通り利活用事業実行委員会		
【事業内容】	アクト通りにて、地域住民の交流を促進し、アクト通りや中心市街地のにぎわい創出を目的として、地域農産物や特産品を販売、PR するコミュニティイベント「アクト通りふれあいデイ」を開催する。（毎月１回）		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	交流人口・コミュニティ活動の増加、若者世代が参画する活動の増加		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、まちづくりに取り組む市民や地域住民の交流を図り、中心市街地の新たな価値創出に繋がるとともに、中心市街地への来街者の増加に資する。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-

【事業番号】7-59【事業名】浜松駅北口地下広場利用事業/（４）

【事業実施時期】	令和 8 年度～令和 12 年度		
【実施主体】	浜松駅北口地下広場等利用活性会		
【事業内容】	まちなかの公共空間を利活用し、中心市街地の活性化やまちなかのにぎわいを創出するため、単独イベントのほか、イベントの PR 会場・サブ会場としての利用や物販・飲食店の出店などの利用に対して、浜松駅北口地下広場の貸出を行っている。		
活性化を実現するための位置付け及び必要性			
【目標】	「いどむ」市民協働による新たな価値創出への挑戦		
【目標指標】	まちなか公共空間利活用数		
【活性化に資する理由】	本事業を実施することにより、中心市街地への来街者の増加に資する。		
【支援措置名】	-		
【支援措置実施時期】	-	【支援主体】	-